

## 平成 25 年度 流域管理の取組結果表

No. 5 (当初計画 : No. 4 )

東北森林管理局

取組名	木材の利用促進の取組(継続)
流域名	三八・上北流域
分類番号	イ-15、ウ-17、カ-23・24・31
実施箇所及び実施日	十和田市奥瀬字 惣辺山国有林 44 林班ろ 3 小班外 平成 25 年 9 月 12 日 (木)
取組の背景及び必要性	当流域の人工林は民有林と国有林を合わせて約 100 千 ha あり、従来からスギを中心とした木造住宅建築が多い地域であることから、更なる地域材の利用促進を図るため実施している。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 地域から公募を行い、「森林と木を知るツアー」と題し、素材生産現場において、伐倒作業から高性能林業機械による伐倒、枝払い、造材作業等の一連の作業、製材工場でのコンピュータ化された製材工程及び製品等、青森県産材使用長寿命化木造住宅を見学しながら、県民局担当者からあおもり県産材制度等の説明を実施し、森林から間伐された木材が製品として利用されるまでの過程を通じ地域材の利用促進、PR を取組んできた。</p> <p>【平成 25 年度の取組内容】 公募した参加者に対し、ブナの二次林の散策、素材生産現場、製材工程等、県産材利用のモデル住宅の見学、各種利用補助制度等を説明、森林から間伐された木材が製品として利用されるまでの一連の流れを体験する木材利用促進 PR を実施した。</p>
国有林担当部局・役割	三八上北森林管理署(企画、事前踏査、公募記事新聞掲載依頼、車両準備、傷害保険加入手続き、協力機関との連絡調整等)
連携協働相手先・役割	上北森林組合(素材生産、製材工場見学と木の特徴の説明等) 上北地域県民局(各種制度紹介とモデル住宅等手配)
取組の結果、反響、今後の課題等	<p>公募した 4 名により、一連の作業、工程等を興味深く見学、モデル住宅で木の持つ特性と木のぬくもりを体感した。</p> <p>今後も、県、森林組合等と連携し、伐採から利用されるまでの一連の工程等を通じて、各種制度等の紹介も取り入れ地域材の利用促進のため PR していく。</p>
PR の実施状況及びその期待する効果	<p>PR : プレスリリース</p> <p>効果 : 国有林材及び民有林材の地域材としての利用拡大が期待される。</p>

【参考資料】

取組名	木材の利用促進の取組(継続)
	
開会の様子	伐採作業現地の説明・見学
	
ブナ二次林の散策	青森県産材利用促進PR
	
木材加工センターの見学	モデル住宅の説明

## 平成 25 年度 流域管理の取組結果表

No. 6 (当初計画 : No. 5 )

東北 森林管理局

取組名	低コスト作業システムの推進に向けた取組(継続)
流域名	三八・上北流域
分類番号	ア-11、イ-14、ウ-16、オ-21、カ-23・24
実施箇所及び実施日	六ヶ所村 平沼第一国有林 1193 林班い1 小班外 平成 25 年 10 月 29 日(火)
取組の背景及び必要性	当署と三八・上北流域林業活性化センターとの共催により、森林作業道作設指針に基づく、森林作業道の作設方法について普及を図ることを目的として、現地検討会を開催した。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】          県民局職員、市町村関係者、森林組合・林業事業体等の林業関係者約 80 名が参加し現地検討会を開催した。          現地検討会では、東北森林管理局の担当者から森林作業道の考え方の説明のあと、バックホウによる森林作業道作設の実演のほか、軟弱な路盤に対する枝条等の敷設、洗い越し、丸太での簡易な横断工などの説明を受けながら意見交換を行った。</p> <p>【平成 25 年度の取組内容】          三八・上北流域森林林業活性化センターと共催により、国有林をフィールドに、東北森林管理局講師から森林作業道作設指針に基づく森林作業道の考え方、バケットグラップルによる作設、丸太での簡易な横断工等を説明、実演を 70 名の出席により現地検討会を実施した。</p>
国有林担当部局・役割	三八上北森林管理署(企画,関係機関との連絡調整,会場準備,資料作成等) 東北森林管理局資源活用課(講師等)
連携協働相手先・役割	三八・上北流域森林林業活性化センター (連絡調整、案内書の送付、出席者の把握等)
取組の結果、反響、今後の課題等	低コストで壊れにくい森林作業道の普及や効率的な作業仕組み等を見学、意見交換する機会として重要であり今後も継続、実施することにより、より一層の普及・定着が図られる。
PR の実施状況及びその期待する効果	PR : 地元新聞社へプレスリリース 効果 : 作業の効率化・低コスト化による間伐面積の増加が期待される。

【参考資料】

取組名 低コスト作業システムの推進に向けた取組(継続)



現地検討会開会



搬出路の改良状況の確認風景



イワフジ工業バケットグラップル作業



(排水路の作設状況)  
バケットグラップルの説明



意見交換



講評

## 平成 25 年度 流域管理の取組結果表

No. 7 (当初計画 : No. 6 )

東北 森林管理局

取 組 名	緑の雇用担い手対策事業に係るフィールドの提供(継続)
流 域 名	三八・上北流域
分 類 番 号	イ-13,ウ-17,エ-19
実施箇所及び 実施日	
取組の背景及 び必要性	緊急雇用対策により林業への就業・定着を目的とした本制度 に対し、林業事業体の育成を図るためにも積極的に支援する必 要がある。
取 組 の 内 容	<p>【これまでの取組内容】 当署では、平成18年度から研修のフィールドとして提供し てきており、林業事業体からの申請に対し、協定を締結のうえ フィールドを提供し積極的に支援を行ってきた。</p> <p>【平成25年度の取組内容】 林業事業体から緑の雇用担い手対策事業等研修に使用するフ ィールド提供の要請がなかった。</p>
国有林担当 部局・役割	三八上北森林管理署、局森林整備課、局資源活用課 (協定締結の準備、フィールドの提供等)
連携協働相 手先・役割	
取組の結果、 反響、今後の 課題等	本事業に対して、国有林がフィールドを提供しているとい うことを各種会合等の機会を利用しPRする必要がある。
PRの実施状 況及びその期 待する効果	PR : HPにより公開(林野庁、局) 効果 : 緑の雇用担い手対策事業の理解が得られ、活用が図られ る。

## 平成 25 年度 流域管理の取組結果表

No. 8 (当初計画 : No. 7 )

東北 森林管理局

取組名	森林ボランティアパトロール員等による登山者等への保護巡視・啓発活動(継続)
流域名	三八・上北流域
分類番号	カ-28・30・32
実施箇所及び実施日	十和田八幡平国立公園三八上北森林管理署管内国有林 平成25年6月～10月(金・土・日・祝日)
取組の背景及び必要性	近年、登山者の大衆化に伴い、人為による植生の荒廃等が懸念されることから、保護巡視活動及び啓発活動を行う必要があるため。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 森林ボランティアパトロール員及びグリーン・サポート・スタッフにより、高山植物等の保護巡視活動及び啓発活動を実施してきている。</p> <p>【平成25年度の取組内容】 森林ボランティアパトロール員等により、人為による植生荒廃や森林機能の低下の防止を図るため、登山者等に対し、保護巡視活動及び啓発活動を実施した。</p>
国有林担当部局・役割	三八上北森林管理署 部局・役割(公募・身分証明書交付式の準備等)
連携協働相手先・役割	
取組の結果、反響、今後の課題等	<p>森林パトロールや森林環境美化活動を通じ、高山植物等の保護、人為による植生荒廃等の防止、不法投棄等の防止に貢献した。</p> <p>森林ボランティアパトロール員やグリーン・サポート・スタッフが国有林を巡視していることをPRする必要がある。</p>
PRの実施状況及びその期待する効果	<p>PR: 地元新聞社へプレスリリース</p> <p>効果: 高山植物等の保護、人為による植生荒廃等の防止が図られる。</p>

【参考資料】

取組名	森林ボランティアパトロール員等による登山者等への保護巡視・啓発活動(継続)
-----	---------------------------------------



交付式



現地打合せ



啓蒙活動



歩道整備



報告会



啓蒙活動

## 平成 25 年度 流域管理の取組結果表

No. 9 (当初計画 : No. 8 )

東北 森林管理局

取組名	ふれあいの森・遊々の森における森林環境教育 (継続)
流域名	三八・上北流域
分類番号	イ-14、エ-21、カ-24・27・31
実施箇所及び実施日	三八上北森林管理署 谷地国有林 ・ふれあいの森 (田中建設工業 (株)) 平成 25 年 6 月 1 日 ・ふれあいの森 (青森県生協連) 平成 25 年 6 月 9 日 ・ふれあいの森 (おいらせ知の会) 平成 25 年 6 月 29 日
取組の背景及び必要性	地域住民が自然に親しみ交流を図るためのフィールドを提供し、林業体験活動や森林環境教育を通じて、森林の役割やその重要性についての理解の醸成を図る。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】          「ふれあいの森」の協定を締結している 3 団体が実施する植樹や森林整備活動等の支援するほか、森林教室等の森林環境教育を実施してきた。          また、「遊々の森」の協定を締結している地元の中学校に対し、保育等の林業体験活動に対して支援をしている。</p> <p>【平成 25 年度の取組内容】          「ふれあいの森」における植樹指導や森林教室等の実施及び地域の要請により森林環境学習を実施した。</p>
国有林担当部局・役割	三八上北森林管理署 (企画・立案の支援・協力、道具類準備、植樹指導等)
連携協働相手先・役割	青森県生活協同組合連合会、田中建設工業 (株)、おいらせ知の会、青森県立三本木高等学校・附属中学校 (企画・立案、植樹活動等)
取組の結果、反響、今後の課題等	林業体験活動等の森林とのふれあいを通じ、森林・林業に対する理解が深まった。 また、地域の小中学校等からの森林教室及び勤労体験学習等の要請があり対応するとともに、フィールドの提供の要請及び支援の強化を要望する意見があった。
PR の実施状況及びその期待する効果	PR : 地元新聞社への記事掲載依頼、署 HP へ掲載等 効果 : 植樹活動等の森林とのふれあいを通じて、森林の役割やその重要性について、理解の醸成が図られる。



【参考資料】

取組名	ふれあいの森・遊々の森における森林環境教育（継続）
-----	---------------------------

○田中建設工業(株)



○青森県生活協同組合連合会



## 平成 25 年度 流域管理の取組結果表

No. 10 (当初計画 : No. 9 )

東北 森林管理局

取組名	森林・林業及び国有林のPRイベント開催(継続)
流域名	三八・上北流域
分類番号	イ-15、ウ-17、エ-19、カ-23・24・31
実施箇所及び実施日	青森県十和田市 三八上北森林管理署庁舎敷地内 平成25年6月8日
取組の背景及び必要性	従来から「森林ふれあい祭」として同様のイベントを実施していたものを、平成19年3月の署庁舎の新築を契機に、「森林の恵みの環境祭」としてリニューアルし、地域住民に森林・林業及び国有林を広くPRすることを目的に実施している。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 県・市・森林組合等の共催により、署庁舎敷地内において木工体験教室、山遊びスタンプラリー等の様々な催しを行い、木のぬくもりにふれあう機会を提供してきた。</p> <p>【平成25年度の取組内容】 「森林の恵みの環境祭」と題し、山遊びスタンプラリー(丸太カーリング、丸太切り、丸太釣り等)林産物販売、アートの森(樹書展・チェンソーアート等)、等の様々な催しを行い、木のぬくもりにふれあう機会を提供するとともに、国有林PRパネルの展示等により、森林・林業及び国有林のPRを行った。</p>
国有林担当部局・役割	三八上北森林管理署(企画、共催機関との連絡調整、公告宣伝、会場準備外)
連携協働相手先・役割	十和田市緑化推進委員会・上北県民局 <sup>とも</sup> 十和田市、上北森林組合・上十三地区森林組合・おいらせ知の会・青い森カービングクラブ・(社)ガールスカウト日本連盟青森県第10団(各コーナーの出展準備外)
取組の結果、反響、今後の課題等	地域住民が、森林の恵みに接し、木の良さや国有林をPRすることができ、緑の募金活動も取組むなど成果が得られた。 今後とも、興味をいだかせるような新たな取組PR方法等について検討する必要がある。
PRの実施状況及びその期待する効果	PR: 地元新聞社へプレスリリース、市広報誌掲載、新聞折込チラシ 効果: 森林・林業及び国有林への理解と協力が期待される。

【参考資料】

取 組 名 森林・林業及び国有林のPRイベント開催 (継続)



開会式



山菜販売



三本木高等学校附属中学校吹奏楽



丸太釣り



積み木タワー



チェーンソーアートオークション

## 平成 25 年度 流域管理の取組結果表

No. 11 (当初計画 : No. 10)

東北 森林管理局

取組名	木質バイオマス資源の利用促進への取組 (継続)
流域名	三八・上北流域
分類番号	ア-12、イ-14、ウ-17、エ-19、オ-21、カ-24
実施箇所及び実施日	
取組の背景及び必要性	近年の地球温暖化防止・循環型社会の形成等、バイオマス資源の利活用推進の高まりの中で、地域の伐採跡地等の残存する木質資源の有効活用を図る。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 平成 21 年 9 月に発足した「上北地域バイオマス普及調査研究会」と連携し、国有林の情報を発信し民国の情報を共有することにより、地域におけるバイオマス資源量を的確に把握し有効活用の方法等について検討する。</p> <p>【平成 25 年度の取組内容】 三八・上北流域森林・林業活性化センター及び上北地域バイオマス普及調査研究会による取組がなく活動しなかった。</p>
国有林担当部局・役割	三八上北森林管理署 (研究会への参加、国有林内の資源量の把握等)
連携協働相手先・役割	上北地域県民局、各市町村、各森林組合、林業事業体等 (関係機関との連絡調整、研究会への参加等)
取組の結果、反響、今後の課題等	今後とも、木質バイオマス資源量等の国有林における情報については、積極的に提供し、木質バイオマスエネルギーの有効活用に努める。
PR の実施状況及びその期待する効果	

## 平成 25 年度 流域管理の取組結果表

No. 12 (当初計画 : No. 11)

東北 森林管理局

取組名	民国連携による間伐材販売促進への取組 (継続)
流域名	三八・上北流域
分類番号	イ-15、ウ-16、オ-21
実施箇所及び実施日	三八上北森林管理署管内 平成25年10月～11月
取組の背景及び必要性	当流域の人工林資源は充実期を迎えており、その資源を活かし林業を復権させる態勢づくりが必要である。そのため周辺の民有林と連携することにより、間伐における低コスト化が図られ、間伐収入の確保により間伐の促進が期待される。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 当流域では、平成21年12月に「間伐材販売連携研究会」を立ち上げ、民国連携して取り組む旨の意思統一がなされ、22年度から、民有林・国有林が連携し、間伐箇所のまとまりを確保して路網や土場を共同利用するなど双方が連携した間伐や間伐材の販売を試行的に実施した。</p> <p>【平成25年度の取組内容】 次期計画作成に伴う伐採計画予定箇所の候補地をリストアップし民有林との連携できそうな箇所を模索、国有林内候補地の現地踏査、また、隣接森林所有者と現地の踏査等を取組んだ。</p>
国有林担当部局・役割	東北森林管理局計画課、三八上北森林管理署 (分析・検証関係機関との対応等)
連携協働相手先・役割	青森水源林整備事務所(現地情報・資料の提供等) 隣接森林所有者(現地案内・説明等)
取組の結果、反響、今後の課題等	民国連携の候補地の現地踏査から、基礎固めしたかったが、リストアップに時間を要し全ての踏査ができなかった。 次年度計画樹立に向け、国有林の伐採予定箇所の情報提供を早期に実施し、民有林との連携した施業のできる候補地の取りまとめがスムーズに出来るよう情報提供を行う。
PRの実施状況及びその期待する効果	民国が連携し団地化することによって作業道や土場の共有、路網整備等ができ、低コスト事業、有利販売が可能となり、森林所有者への利益が還元され、民国の間伐の推進が期待される。